

TS-STH1100

取扱説明書

INPUT **75W MAX.**

カーステレオ用スピーカー
85 mm × 80 mm 2ウェイサテライトスピーカー

正しくご使用していただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。
お車への取付けは、必ずこの取扱説明書と別刷りの「安全上の注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると事故やケガの原因となる場合があります。また、お車への取付けは、販売店様にご相談ください。

●ご注意とお願い

「安全上のご注意」を必ずよくお読みください。

⚠ 注意

⚠ 荷物の出し入れ時や走行中、荷物などが当たってキズがついたり、破損したりする恐れがありますので、ご注意ください。

⚠ 荷物の出し入れ時など、頭をぶつける恐れがありますので頭上には充分ご注意ください。

⚠ 本機をご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

⊘ 本体が乗員やシートのヘッドレストなどに常時干渉する位置には取付けしないでください。ケガや破損の原因となります。

⊘ エアバッグが装着されている場所には取付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故やケガの原因になることがあります。

⊘ 取付時および取付後に本体を強く引っばる、ぶら下がるなど荷重をかけないでください。ネジや金具、本体などの破損によりケガの原因となることがあります。同様に、配線を強く引っばる、ぶら下がるなど、荷重をかけないでください。本体の破損やコードの断線などの恐れがあります。

・カーテンエアバッグなどを装着していないことを確認後、取付けしてください。

●仕様

- ・再生方式.....バスレフ型 2 ウェイ
- ・スピーカー仕様
- ウーファー.....口径 85 mm×80 mm(φ 10 cm 相当)角型 HVT ユニット
 フラット構造ボイスコイル
 クロスエッジ
 発泡抄紙振動板
 ネオジウムマグネット : 24 g
- トゥイーター.....φ 33 mm バランスドームトゥイーター
 軽量ダイヤフラム
 磁性流体使用(磁気回路)
 ネオジウムマグネット : 3 g
- ・キャビネット.....耐熱樹脂
- ・インピーダンス.....4 Ω
- ・出力音圧レベル.....78 dB
- ・再生周波数帯域.....70 Hz ~ 40 000 Hz
- ・瞬間最大入力.....75 W
- ・定格入力.....15 W
- ・サイズ.....261 mm×105 mm×36 mm
- ・質量(付属品を含む 1 個).....0.79 kg
- ・総質量(梱包材を含む 2 個).....1.80 kg

上記の仕様、および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

●特長

1. 薄型・高音質のHVT(Horizontal-Vertical Transforming)方式を採用したステルスタイプのサテライトスピーカー

特許技術「HVT方式」の薄型化のメカニズムは、振動板の両サイドに配置したボイスコイルを水平方向(Horizontal)に駆動させ、「リンク機構」を介して振動板の垂直方向(Vertical)の振幅に変換(Transforming)するものです。

本製品はHVT方式をウーファー部に採用することで、ボイスコイルの振動を制限することなく薄型化と豊かな低音域再生を両立しています。後方視界やインテリア性を犠牲にすることなく高音質再生が可能なステルスタイプのサテライトスピーカーを実現しました。

2. 全座席で快適な音場空間を実現する、指向特性ウェーブガイド搭載の大口径ソフトドームトゥイーター採用

トゥイーター部には、大口径3.3 cmソフトドームダイヤフラムを採用し、中音域から高音域まで自然な音色の再生を実現しました。

トゥイーター外周部にはFEM解析によって導かれた独自ホーン形状のウェーブガイドを採用し、音軸補正と相まって、乗車位置に関わらず、全座席で最適な音場が形成され、聴き心地の良いサウンドを実現することができました。

3. 多彩な車種や設置場所に適応する、幅広い取付力バレッジ

従来のサテライトスピーカーでは対応できなかったミニバンタイプのCピラーへの取付けを始めとした幅広い取付力バレッジが実現され、また、内装にフィットする薄型形状のフォルムが車室内インテリアとの調和を演出するデザインとなっております。

付属の専用取付金具は、取り扱いが簡単で位置補正機能も備えたインテリアへのフィット性の高い取付方法が実現できます。

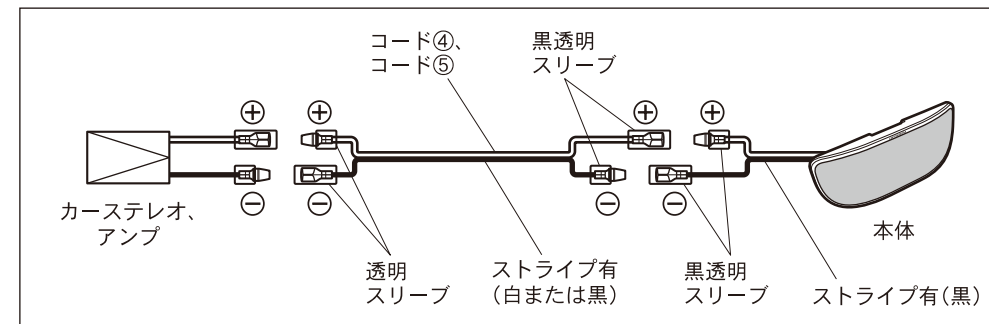
●付属品

- ①取付金具 ×2
- ②ネジ 六角穴付ネジ M5 mm×10 mm ×2
- ③六角レンチ ×1
- ④コード(白ストライプ) 7 m ×1
 黒透明/白ストライプ
- ⑤コード(黒ストライプ) 7 m ×1
 黒透明/黒ストライプ
- ⑥クッション ×1
- ⑦取付シート ×4

●準備する工具類

コードを接続する際、内張りなどを分解する必要がある場合は、ドライバー、内張りはがしなどをご用意ください。

●接続図



●配線のご注意とお願い

⚠ 本機への配線は、必ず付属のコードを使用してください。また、イグニッション、車載コンピューター、ハーネスなど、ノイズを多く発生するものと近付けないように配線し、ご使用ください。

⚠ スピーカーへの配線は極性を間違えないように、正しく配線してください。スピーカーの極性(+、-)を間違えて配線しますと低音感の乏しい音になります。

❗ 接続する際、お手持ちのカーステレオの取扱説明書も参照してください。

●取付方法(ご注意)

「安全上のご注意」を必ずよくお読みください。

取付不備を含め、指定の部品を用いない取付け、取扱説明書以外の方法での取付けなどによって起きた事故に対して、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。

⚠ 警告

❗ 必ず付属の部品を使用して、しっかり固定してください。指定以外のものを使用すると内部の部品をいためたり、ゆるんで外れたりする危険性があります。

❗ 取付けには必ず適合する工具を使用してください。適合しない工具あるいは変形した工具を使用するとしっかり固定できず、外れたりして危険です。

❗ 付属のワイヤーを必ず使用してください。使用しない場合、万一落下した際、事故やケガの原因となります。

❗ 使用中に、ネジのゆるみや金具の取付けにがたつきがないか、ときどき点検を行ってください。ゆるみやがたつきのある状態のまま走行しますと、本体が外れて落下し、事故やケガの原因となります。

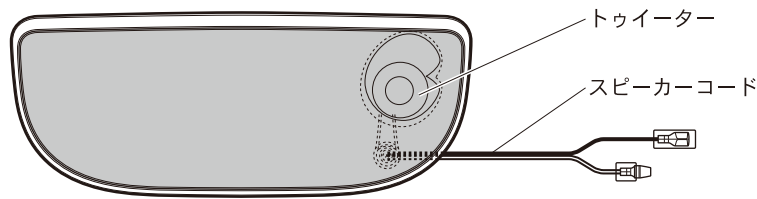
❗ 本機を車載以外(レジャーボートや二輪車など)で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

⊘ お車への乗り降りに支障のある場所には取付けしないでください。ケガや破損の原因となります。

⊘ 取付金具を分解したり、改造しないでください。ケガや破損の原因となります。

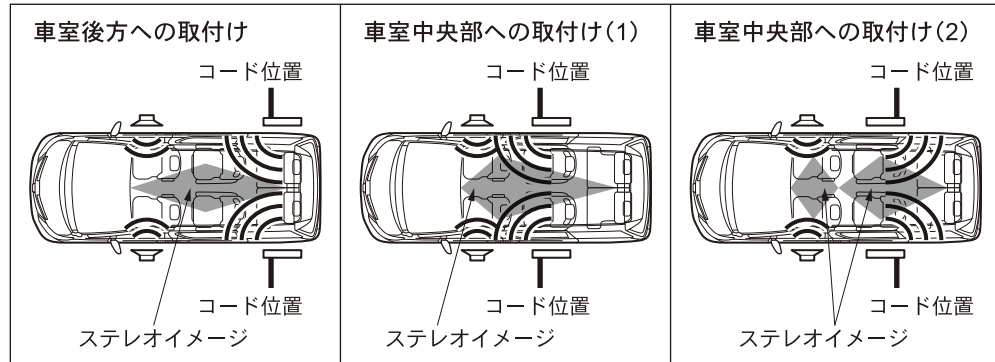
取付手順は、裏面をご覧ください。

● トウイーターの向きについて



※製品背面のスピーカーコードの出口の裏側にトウイーターが設置されています。取付けの際は、スピーカーコードの出口側を確認してトウイーターの方向を決定してください。

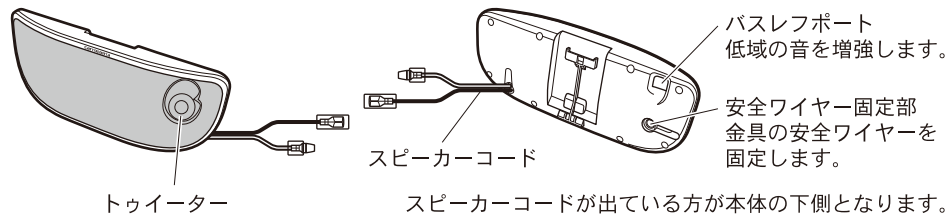
● 取付例



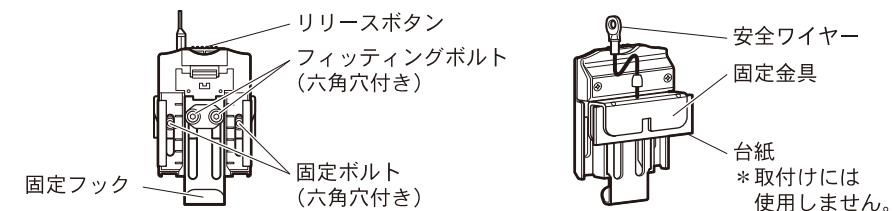
※本製品はワンタッチで取付金具からスピーカー本体を取外せますので、お客様好みの音場感を簡単に体感によってお選びいただくことができます。フロントスピーカーとのマッチングで前後のバランスが悪いときは、フェーダーなどでバランスを調整してください。

● 各部の名称と取付けの準備

① スピーカー本体

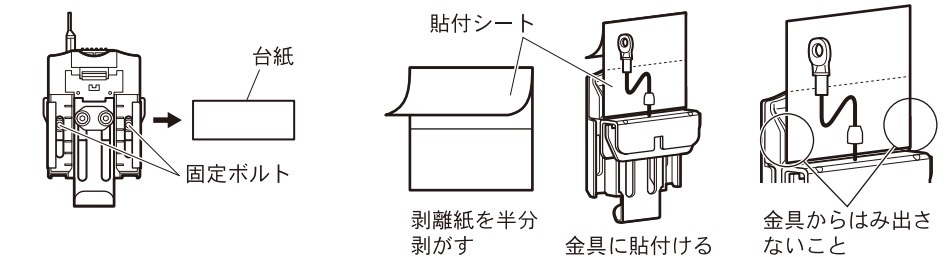


② 取付金具



六角レンチ③を使用し、固定ボルト2本を緩めて金具から台紙を取外します。

取付金具を車両に取付ける前に、取付シートの細かい剥離紙を剥がし、取付金具に貼付けます。その際、取付金具からはみ出さないように注意してください。

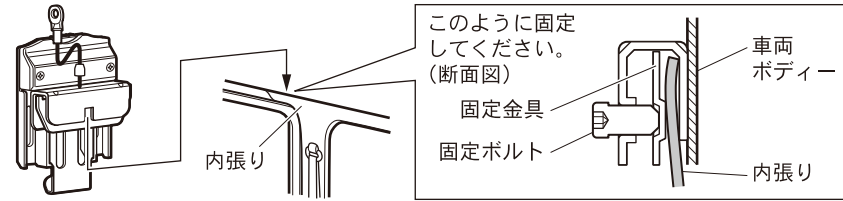


- ⚠ 衝突時などの落下防止のため、付属の取付シートは必ずご使用ください。万一落下した場合、事故やケガの原因となります。
- ⚠ お子様などによる誤操作は脱落の危険があります。誤操作防止のため、付属の取付シートを必ずご使用ください。

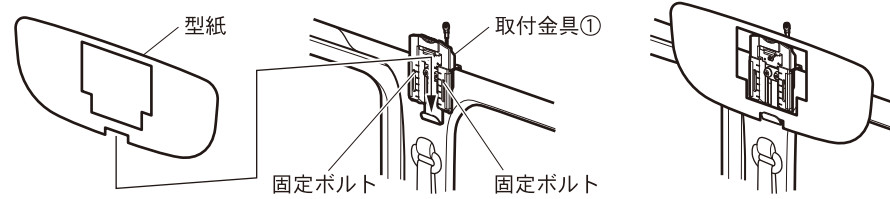
● 取付方法 (装着イメージは個装箱側面をご覧ください)

1. 個装ケースのミシン目部に沿って切り取り、型紙を作成します。型紙を用い、取付場所の選定と、取付位置の調整を行います。取付金具①に型紙を挟み込み、取付位置を決め内張りに固定します。

車両の内張りをマイナスドライバーなどで軽く広げ、固定金具部分を内張りに差し込みます。その際、出来るだけ固定金具を内張りの奥まで差し込んでください。六角レンチ③を使用し、固定ボルト2本を締め付け内張りに固定します。



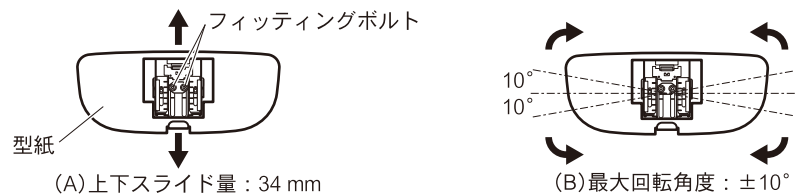
取付金具①の固定フックに型紙を挟み込みます。型紙で取付位置が、天井とのコーナーやバックドアに干渉していないか確認します。



- ⚠ エアバッグなど安全装置の妨げになる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には、取付けないでください。交通事故やケガの原因となります。
- ⚠ 固定ボルトの締めすぎにご注意ください。

2. 高さ、角度の調整を行います。

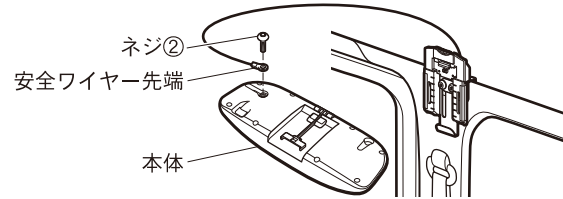
六角レンチ③を使用し、型紙がスライドできる程度にフィッティングボルト2本を緩めます。高さ(A)、角度(B)を決めフィッティングボルト2本を締め付けます。取付位置の調整の際は、お車への乗り降りに支障がないことをご確認ください。



- ⚠ 金具が天井にあたる所や、型紙が天井や内装にあたる所への取付けは、避けてください。外れて事故やケガの原因となることがあります。

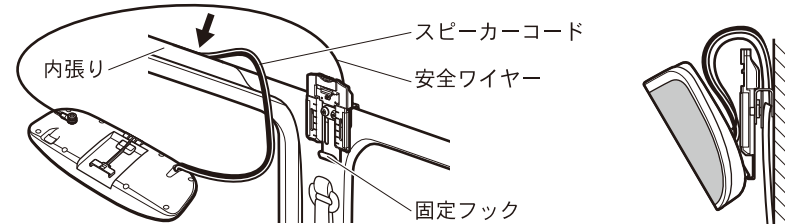
3. ワイヤーの取付け

型紙を金具から外します。ワイヤー先端の穴にネジ②を通して六角レンチ③を使用し、締め付けて固定します。



4. コードの配線処理

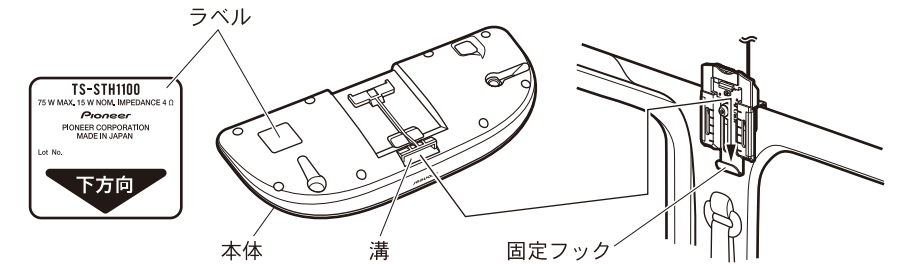
スピーカーコードを内張りの中にまとめ、安全ワイヤーに沿う様に配線します。その際、スピーカーコードの長さは安全ワイヤーよりも短くならないように調整します。スピーカー本体を固定フックに引っ掛けて結線を行うと、長さの調整がしやすくなります。



- ⚠ スピーカーからのコードを配線する際には、必ずコードをたるませた状態にしてください。コードをたるませない状態で取付けた場合、振動によりコード断線などの恐れがあります。

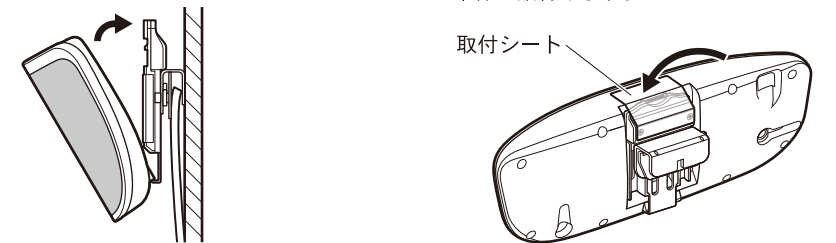
5. 本体の取付け

本体下側の溝と金具①の固定フックを合わせます。ラベルの「下方向」の表示で上下の確認を行います。



“カチッ”と音がするまで押し込み確実にロックします。

取付位置が決まり、本体を取付けたあと、取付シートの残りの剥離紙を剥がし、下図のように本体に貼付けます。



本体を取付けたあと、位置や角度を微調整する場合は、リリースボタンを押して本体をいったん取外し、フィッティングボルトを緩め再調整を行ったあとで再度取付けます。

- 走行時に本体に揺れがあったり、内装との間でビビリ音が発生した場合

内装と製品を保護するため、本体背面にクッション⑥を貼り、取付けを行ってください。

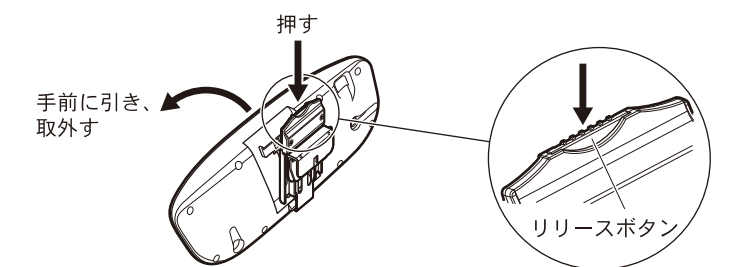
- ⚠ 右下図の網掛け部分にはクッションを貼らないでください。正しく取付けができなくなったり、ポートを塞ぐと低音感の乏しい音質になります。



- 本体の外し方

取付シート⑦を剥がしたあと、取付金具①の上部にあるリリースボタンを押しながら本体上側を手前に引き、固定フックから取外してください。

- ⚠ 本体を外すときは、落下しないように本体をしっかり手で持ってください。



- ⚠ 取付シート⑦を外し、再度製品を取付ける際は、衝突時などの落下防止のため、予備で付属している取付シート⑦を必ずご使用ください。万一落下した場合、事故やケガの原因となります。

- 故障かな?と思ったら

ちょっとした操作のミスや配線違いなどで故障と間違えることがあります。修理をご依頼される前に、スピーカーのコードが外れていたり断線していないかどうか、スピーカーコードの極性(+)、(-)が合っているかどうかのチェックをしてください。